

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松

ワークショップ 18	
企画名	目指そう PCOG プロバイダー：BLSO アドバンスセミナー
日時	2017年5月13日(土) 16:45～18:15
会場	第6会場 (サンポートホール高松 ホール棟 7F 第3リハーサル室)
企画責任者	伊藤 雄二 (公益社団法人地域医療振興協会 総合診療産婦人科養成センター)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>本学会では女性医療・保健委員会(チーム PCOG (Primary Care OB-GYN))が中心となって BLSO(Basic Life Support in Obstetrics) および A(Advanced)LSO プロバイダーコースを開催している。今回は産科診療や分娩の研修およびその実践の経験がある、あるいはそれを今後希望する総合診療医がローリスク妊娠の分娩管理について学び、ALSO プロバイダーコース受講およびその後の実践につなげるためのWSを企画した。</p> <p>【概要】</p> <p>ALSO は医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースであり、1991年にウィスコンシン大学の家庭医二人が考案した。1993年には米国家庭医学会によって認可され、世界的に普及しているシミュレーションコースである。BLSO コースでは主に産科診療に関わることが非日常的である受講生を対象としているが、今後産科診療の研修や診療に継続的に関わりたい総合診療医、およびその指導医は ALSO 受講を含めて産科診療に対する理解を深めることが望ましい。ALSO コースの中で学ぶローリスク妊娠の分娩管理に胎児心拍数モニタリングの判読は重要だが、胎児心拍数に関わる生理学的知識も含め、非産婦人科医には馴染みがなく関わりにくい分野である。2015年の秋季セミナーから ALSO 受講のための基礎コースとして BLSO アドバンスセミナーを開催し、胎児心拍数モニタリングの判読の基本について症例検討を通して学んでもらい好評であった。今回も胎児心拍数に関わる生理学をわかりやすく解説し、グループワークによる症例検討によってさらに実践的な応用を学ぶことで、ローリスク妊娠の分娩管理の実際に触れ、今年度も開催が予定されている本学会主催の学会員向け ALSO コース受講やその後の実践に役立つWSである</p>	